

開催レポート

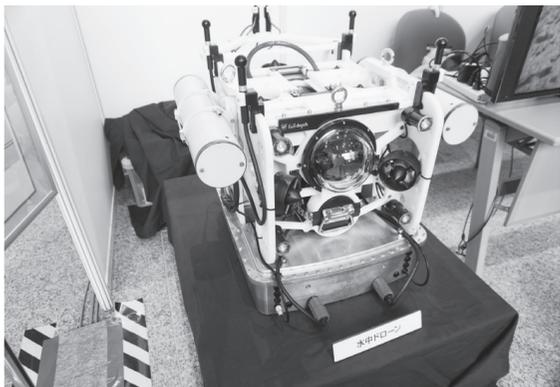
YRPオーブンイノベーションデー2024

「ここから未来が見えてくる」

「YRPオーブンイノベーションデー2024」が「ここから未来が見えてくる」をテーマに、10月18日・19日にYRPセンター1番館(神奈川県横浜須賀野光の丘3-1-4)で開催された。



アストロデザインは『8K映像切り出し表示システム』を展示紹介



NTTは海中音響通信技術で水中ドローンを展示



NECは海底ケーブルシステム事業を見せた

展示会では、YRP進出企業・機関・大学研究室・YRP関連企業等の日々の成果を紹介した。今や生活に欠かせないICT技術が、生み出した様々な商品やサービスは、YRPで研究開発された技術から生ま

力する「8K切り出し」システムを展示した。全体を8Kの高解像度カメラで撮影するため、それぞれの切り出し画面も鮮明に確認できる。映像制作だけでなく、監視・検査などの現場でも活用できるシステムとして

「8K映像切り出し表示システム」は、8K高解像度映像から任意の映像をリアルタイムで切り出し表示するシステム。切り出し元の8Kを使用することで、拡大表示しても精細感が変わらない映像を得ることが

NTTは、農産物流通におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組み、海中における無線通信の取り組みについて紹介した。

「多様性とAIが導く未来のビジネス戦略」

講演は、YRPセンター1番館内のYRPホールで行われた。基調講演は、多様性とAIが導く未来のビジネス戦略と題して、筑波大学デジタルネイチャー開発センター長/准教授の落合陽一氏が行った。

自然とは、自然が計算機の中にも存在し、その両者が相互に作用し、その形成する概念という。このループによって、デジタルとアナログ、人工と自然、人間と計算機が融合し、新たな創造性と世界観を生み出す。

YRPセンター1番館内の無線歴史展示室も通常は団体の見学のみを受けている施設だが、YRPオーブンイノベーションデー2024会期中に特別開館した。

無線歴史展示室を特別開館

センマイ式蓄音機の音色奏でる VHS方式ビデオレコーダー1号機に注目

無線歴史展示室は、無線通信の歴史についての理解を深めてもらうため、横須賀リサーチパーク(YRP)の企業を中心に展示品の協力を得て開館した。

19日は一般公開デーで、19日は一般公開デーで、お笑い・子供向けワークショップなど様々なイベントが開催された。



センマイ式蓄音機「J1-35型 ビクトロラ」



VHS方式ビデオレコーダー1号機「HR-3300」(日本ビクター)

新たに展示物に加わった目玉のひとつが世界統一基準VHS方式ビデオレコーダー1号機「HR-3300」(1976年)。

富士通は、リアルとデジタルが融合したポータルに不可欠なトランスレイトング技術の導入について、



基調講演の様

講演は、YRPセンター1番館内のYRPホールで行われた。基調講演は、多様性とAIが導く未来のビジネス戦略と題して、筑波大学デジタルネイチャー開発センター長/准教授の落合陽一氏が行った。

自然とは、自然が計算機の中にも存在し、その両者が相互に作用し、その形成する概念という。このループによって、デジタルとアナログ、人工と自然、人間と計算機が融合し、新たな創造性と世界観を生み出す。

YRPセンター1番館内の無線歴史展示室も通常は団体の見学のみを受けている施設だが、YRPオーブンイノベーションデー2024会期中に特別開館した。

富士通は、リアルとデジタルが融合したポータルに不可欠なトランスレイトング技術の導入について、